



2026年3月期 第1四半期決算

2025年7月30日
株式会社オリエンタルランド

ゲスト1人当たり売上高の増やホテル収入の増などにより、増収増益

(億円)

連結損益計算書	2025/3 第1四半期実績	2026/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高	1,484	1,637	153	10.3%
テーマパーク事業	1,214	1,312	98	8.1%
ホテル事業	227	285	57	25.1%
その他の事業	42	39	△ 2	△ 6.8%
営業利益	333	387	54	16.3%
テーマパーク事業	281	292	11	3.9%
ホテル事業	43	91	48	112.2%
その他の事業	6	1	△ 4	△ 70.3%
経常利益	340	392	51	15.2%
特別利益	2	-	△ 2	-
税金等調整前四半期純利益	342	392	49	14.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	244	274	30	12.4%

2

当四半期実績（前年同期比較）

2026年3月期第1四半期の決算概要についてご説明します。

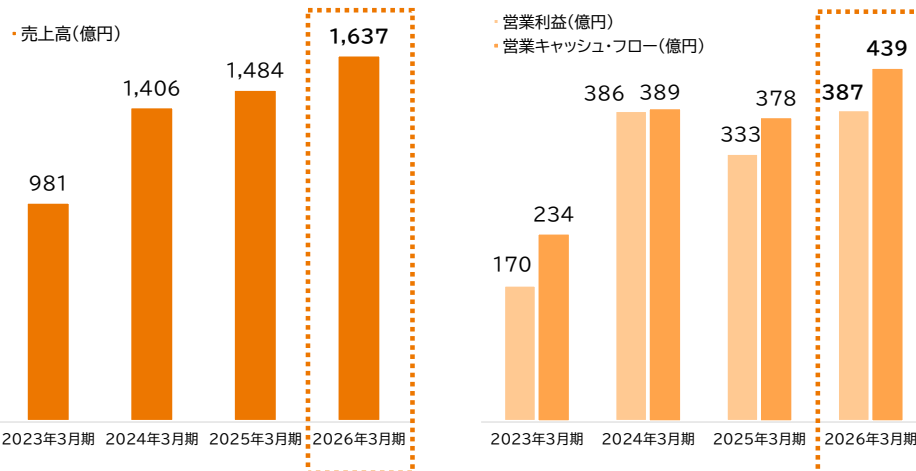
当四半期実績は、ご覧の通りです。

前年同期と比較して、

ゲスト1人当たり売上高の増やホテル収入の増により、増収増益となりました。

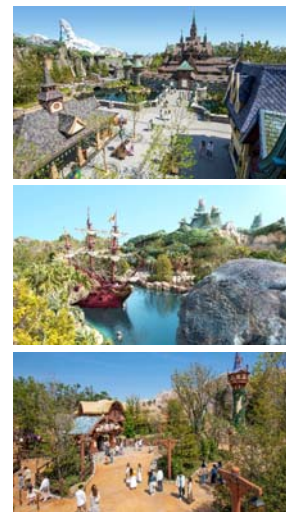
ファンタジースプリングスの通期稼働などにより、
連結売上高、営業利益、営業キャッシュ・フロー*は、第1四半期として過去最高

第1四半期の連結売上高、営業利益、営業キャッシュ・フローの推移



*営業キャッシュ・フロー＝親会社株主に帰属する当期純利益＋減価償却費

As to Disney Properties ©Disney



ファンタジースプリングス内の各エリア

当四半期実績（前年同期比較）

過年度の第1四半期の業績の推移はご覧のとおりとなっており、
当四半期はファンタジースプリングスの通期稼働などにより、
連結売上高、営業利益、営業キャッシュ・フローが過去最高となりました。

4月よりファンタジースプリングスのオペレーションの制限を解除し、
より多くの方にお楽しみいただけるようになりました。
今後も、長年開発してきた大規模なプロジェクトを更に活用しながら、
業績向上に努めてまいります。

**テーマパーク事業
売上高**
ゲスト1人当たり売上高の各収入が増加したことから増収

	2025/3 第1四半期実績	2026/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高(億円)	1,214	1,312	98	8.1%

入園者数はほぼ同様

- ー ファンタジースプリングスの通期稼働による増
- ー 海外ゲスト数の増
- ー 前年同期のスペース・マウンテンのクローズ前需要による減
- ー 週末の雨天日の増による減

【参考】雨天の日数

	前年同期	当四半期	差
平日	17日	12日	△5日
土日祝日	3日	9日	+6日

ゲスト1人当たり売上高は上回った

- ・ アトラクション・ショー収入の増
 - ー ディズニー・プレミアアクセスの増
 - ー 変動価格制による高価格帯チケット構成比の増
 - ー 東京ディズニーリゾート・バケーションパッケージの増
- ・ 商品販売収入の増
 - ー ダッフィー＆フレンズ20周年関連商品の増
 - ー ファンタジースプリングス関連商品の減
- ・ 飲食販売収入の増
 - ー ファンタジースプリングス内店舗の通期稼働による増



ダッフィー＆フレンズ20周年関連商品

As to Disney Properties ©Disney

4

当四半期実績（前年同期比較）－ 主な増減要因

セグメント別の実績と増減要因をご説明します。

テーマパーク事業の売上高は、98億円増の1,312億円となりました。

入園者数は、
前年同期のスペース・マウンテンのクローズ前需要による減や、
週末の雨天日の増による減があったものの、
ファンタジースプリングスの通期稼働や海外ゲスト数の増などにより、ほぼ同様となりました。

ゲスト1人当たり売上高は、各収入が上回りました。
アトラクション・ショー収入は、
主にファンタジースプリングスのディズニー・プレミアアクセスの増や、
変動価格制による高価格帯チケット構成比の増などにより上回りました。

商品販売収入は、
ファンタジースプリングス関連商品の初期需要の落ち着きにより減したものの、
ダッフィー＆フレンズ20周年関連商品の増などにより、上回りました。

飲食販売収入は、
ファンタジースプリングス内店舗の通期稼働などにより、上回りました。

テーマパーク事業
営業利益

各コストが増加したものの、売上高の増などにより増益

	2025/3 第1四半期実績	2026/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高(億円)	1,214	1,312	98	8.1%
営業利益(億円)	281	292	11	3.9%

(億円)

営業利益の増

売上高の増	
人件費の増	△ 24
準社員人件費の増	△ 9
正社員人件費の増	△ 9
その他	△ 5

諸経費の増	△ 22
メンテナンス費の増	△ 11
システム関連費用の増	△ 6
租税公課の増など	△ 4
減価償却費の増	△ 24
新規資産取得による増など	

※商品・飲食原価率はほぼ同様

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

5

当四半期実績（前年同期比較）－ 主な増減要因

テーマパーク事業の営業利益は、
11億円増の、292億円となりました。

商品・飲食原価率は、ほぼ同様となりました。

人件費は、
賃金改定や人数増などにより、増加しました。

諸経費は、
投資振替経費によるメンテナンス費の増や、
IT機器の入れ替えによるシステム関連費用の増などにより、
増加しました。

減価償却費は、
ファンタジースプリングスの通期稼働により、増加しました。

ホテル事業

宿泊収入の増により増収増益となり、売上高と営業利益は過去最高

	2025/3 第1四半期実績	2026/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高(億円)	227	285	57	25.1%
ディズニーホテル	206	261	54	26.6%
客室稼働率(%、pt)	94.2	94.0	△0.2	
平均客室単価(円)	56,603	66,534	9,931	17.5%
その他ホテル	21	24	2	11.3%
営業利益(億円)	43	91	48	112.2%

売上高の増

- ・ 東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテルの
通期稼働による増
- ・ 客室単価の増

営業利益の増

- ・ 売上高の増
- ・ 人件費の増(△ 6億円) — 人数の増、賃金改定による増
- ・ 減価償却費の増(△ 5億円)

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

6

当四半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

ホテル事業は、
東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテルの通期稼働などによる宿泊収入の増により、
売上高は、57億円増の285億円となりました。

当四半期のディズニーホテルにおける
客室稼働率は、
一部ホテルにおける修繕の実施により、0.2ポイント減の94.0%、
平均客室単価は、
9,931円増の66,534円でした。

営業利益は、
人件費や減価償却費が増したものの、
売上高の増により、48億円増の91億円となりました。

営業利益率も32.1%となり、好調な状態が続いています。
引き続きレベニューマネジメントを徹底し、好調を維持できるよう努めてまいります。

その他の事業

その他の事業は減収減益

	2025/3 第1四半期実績	2026/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高(億円)	42	39	△ 2	△ 6.8%
営業利益(億円)	6	1	△ 4	△ 70.3%

売上高の減

- ・ 植栽事業の減

営業利益の減

- ・ 売上高の減
- ・ 諸経費の増

当四半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

その他の事業は、
植栽事業の減などにより、
売上高は2億円減の39億円でした。

営業利益は、売上高の減や諸経費の増などにより、
4億円減の1億円となりました。

ゲスト1人当たり売上高や入園者数の増などにより、業績予想を上回った

	業績予想比較	主な増減要因
売上高	上回った	・入園者数 若干上回った - ー ファンタジースプリングスによる増 - ー 前年同期のスペース・マウンテンのクローズ前需要による減 - ー 週末の雨天日の増による減 ・ゲスト1人当たり売上高 若干上回った ・アトラクション・ショー収入 ほぼ同様 ・商品販売収入 上回った - ー 食品の増 - ー ダッフィー＆フレンズ20周年関連商品の増 ・飲食販売収入 上回った - ー フードスーベニアの増 - ー 東京ディズニーシー・フード＆ワイン・フェスティバル関連メニューによる増 - ー ダッフィー＆フレンズ20周年イベント関連メニューの増
営業利益	上回った	- 売上高の増 - 商品・飲食原価率の減 - 諸経費の減

8

当四半期実績(業績予想比較) - 主な増減要因

業績予想と比較すると、ゲスト1人当たり売上高の増などにより、売上高、営業利益ともに業績予想を上回りました。

入園者数は、前年同期のスペース・マウンテンのクローズ前需要による減や、週末の雨天日の増による減があったものの、ファンタジースプリングスの増などにより、若干上回りました。

ゲスト1人当たり売上高は、食品の増などによる商品販売収入の増や、フードスーベニアの増などによる飲食販売収入の増により、全体としては若干上回りました。

営業利益は、売上高の増や、商品・飲食原価率の減、諸経費の減などにより、上回りました。

なお、足元の入園者数は弱含んで推移しているものの、8月以降の予約状況については回復傾向にあります。そのため、現時点では第2四半期（累計）および通期の連結業績予想を据え置くこととします。

Appendix

パーク内施設等の体験時間や入場時刻を指定して予約できる有料のサービス。少ない待ち時間で施設の利用が可能

東京ディズニーランド コンテンツ	導入日	価格	東京ディズニーシー コンテンツ	導入日	価格
◆美女と野獣“魔法のものがたり”	2022年5月19日	¥2,000	◆ソアリン：ファンタスティック・フライト	2022年5月19日	¥2,000
◆スプラッシュ・マウンテン	2022年12月1日	¥1,500	◆トイ・ストーリー・マニア！	2022年6月10日	¥2,000
◆バイマックスのハッピーライド	2022年12月1日	¥1,500	◇ビリーヴ！～シー・オブ・ドリームス～	2022年11月11日	¥2,500
◇ディズニー・ハーモニー・イン・カラー	2023年4月15日	¥2,500	◆タワー・オブ・テラー	2022年12月9日	¥1,500
◇東京ディズニーランド・ エレクトリカルパレード・ドリームライツ	2023年4月15日	¥2,500	◆センター・オブ・ジ・アース	2022年12月9日	¥1,500
◇Reach for the Stars	2024年9月20日	¥2,500	◆アナとエルサのフロズンジャーニー	2024年6月6日	¥2,000
◇ミッキーのマジカルミュージックワールド	2024年11月13日	¥2,500	◆ラプンツェルのランタンフェスティバル	2024年6月6日	¥2,000
◇クラブマウスビート	2024年11月13日	¥2,500	◆ピーターパンのネバーランドアドベンチャー	2024年6月6日	¥2,000
◇ザ・ヴィランズ・ハロウィーン “Into the Frenzy”	2025年9月17日*1	¥2,500	◇ビックバンドビート～ア・スペシャルトリート～	2024年11月13日	¥2,500
			◇ドックサイド・スプラッシュ・リミックス	2025年7月2日*2	¥2,500
			◇ドリームス・テイク・フライト	2025年7月16日	¥2,500

◆アトラクション ◇エンターテイメント

※2025年7月30日時点で公表しているものを記載しています。

*1 2025年9月17日～10月31日の間、対象です。

*2 2025年7月2日～9月15日の間、対象です。

指定された時間に短い待ち時間で施設をご利用いただける無料のサービス

東京ディズニーランド コンテンツ	東京ディズニーシー コンテンツ
スター・ツアーズ:ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー	アクアトピア“びしょ濡れ”バージョン*
ビッグサンダー・マウンテン	インディ・ジョーンズ®・アドベンチャー:クリスタルスカルの魔宮
プーさんのハニーハント	海底2万マイル
ホーンテッドマンション	タートルトーク
モンスターズ・インク“ライド&ゴーシーク！”	ニモ&フレンズ・シーライダー
	マジックランプシアター
	レイジングスピリッツ

※2025年7月30日時点で公表しているものを記載しています。
* 2025年7月2日～9月15日の間、対象です。

2026年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京ディズニーランド	★ 1/15～6/30 NEW イツ・ア・スモールワールド with グレート											
	★ 4/8～6/30 NEW 「ディズニー・バルバルーザ」第4弾 「ドナルドのクワッキー・ダック! ダック! ダックシティ!」					★ 9/17～10/31 「ディズニー・ハロウィーン」				★ 1/1～1/12 お正月のスペシャルイベント		
				★ 7/2～9/15 NEW 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」				★ 11/11～12/25 NEW 「ディズニー・クリスマス」				
	★ 4/8～6/30 NEW 「スター・ツアーズ:ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー」 スペシャルバージョン											
東京ディズニーシー	★ 2025/4/8～2026/3/19 NEW 「ダッフィー&フレンズ20周年:カラフルハビネス」											
	★ 4/8～6/30 「東京ディズニーシー・フード&ワイン・フェスティバル」					★ 9/17～10/31 「ディズニー・ハロウィーン」				★ 1/1～1/12 お正月のスペシャルイベント		
				★ 7/2～9/15 NEW 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」			★ 9/17～11/2 NEW 「ラズ・デ・ラ・ファミリア」		★ 11/11～12/25 「ディズニー・クリスマス」			
	★ 1/14～4/6 タワー・オブ・テラー: Level13			◆ 7/16～ NEW 「ドリームス・テイク・フライト」(ハンガーステージ新規ショー)								

※イベントの名称、開催期間および内容は変更になる場合があります。※2025年7月30日時点で公表しているものを記載しています。

★ スペシャルイベント・プログラム ◆ 新規アトラクション・ショーなど

(億円)			
連結貸借対照表	前期末	当四半期末	増減
A.資産の部			
流動資産	5,253	4,951	△ 302
固定資産	9,131	9,152	20
資産合計	14,385	14,103	△ 281
B.負債の部			
流動負債	2,358	1,814	△ 544
固定負債	2,252	2,285	33
負債合計	4,611	4,100	△ 510
C.純資産の部			
株主資本	9,610	9,781	171
その他の包括利益累計額	163	221	58
純資産合計	9,774	10,003	229
負債純資産合計	14,385	14,103	△ 281

【A. 資産の部 281億円の減(2.0%減)】

I. 流動資産 302億円の減

(1)有価証券の減	△179 億円
(2)現金及び預金の減	△146 億円

II. 固定資産 20億円の増

(1)投資その他の資産の増	73 億円
(2)建設仮勘定の増	37 億円
(3)建物及び構築物の減	△45 億円
(4)機械装置及び運搬具の減	△39 億円

【B. 負債の部 510億円の減(11.1%減)】

I. 流動負債 544億円の減

(1)その他(主に未払金)の減	△265 億円
(2)未払法人税等の減	△222 億円

II. 固定負債 33億円の増

(1)その他(繰延税金負債)の増	31 億円
------------------	-------

【C. 純資産の部 229億円の増(2.3%増)】

I. 株主資本 171億円の増

(1)親会社株主に帰属する四半期純利益による増	274 億円
(2)配当による減	△114 億円

II. その他の包括利益累計額 58億円の増

(1)繰延ヘッジ損益の増	47 億円
--------------	-------



株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ
www.olc.co.jp

注意事項:

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おさください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。
本資料の転載はご遠慮ください。